



広げよう、地域に根ざした思いやり

民生委員・児童委員は、こんなこともしています。

- 1月 新任民生委員・児童委員研修
ひとり暮らし高齢者へのプレゼント事業
- 5月 活動強化週間 PRカード配布
- 6月 危険か所の点検と看板製作及び設置
福祉のふれあい広場に参加
- 7月 子育て支援事業 親子で遊ぼう「もうすぐ七夕星に願いを」
小・中学校との情報交換会
- 8月 町内 各社会福祉施設の納涼大会夏祭りへの参加
- 10月 子育て支援事業 すこやか子育て講座「絵本を読んで、心育で」
- 11月 町防災訓練に参加
町障がい者スポーツ大会に参加
県外視察研修
- 12月 子育て支援事業 親子で遊ぼう「ちょっと早めのクリスマス」



福祉のふれあい広場では玉こんにやくの煮物を販売しました

～民生委員・児童委員は
いつもそばにいます～

※その他、毎月1回定例会、近隣施設見学や多くの研修にも参加し、日々の活動に活かすべく研鑽に努めています。

人権 それは 愛

問合せ／教育文化振興課 ☎990-9011
企画財政課 ☎991-1815

今月は「松伏町小・中学校人権作文集 - 第18集 -」の作品の中から、小学校2年生の作品を紹介します。

ぼくはたすける

ぼくは、おかあさんから「こまった人がいたらいつもたすけなさい。」といわれてきました。おかあさんは、こまった人がいるといつも、こえをかけてたすけています。だからぼくもそういうやさしいところをもったおとなになりたいとおもいました。

はるやすみに、学校のそばのこうさてんでしろいつえをもった目のふじゆうなおとこの人をみかけました。そのとき、ぼくは、おかあさんのことばをおもいだしました。

そのひとにこえをかけようとおもいましたがしんぞうが、どきどきしてはじめてのことばがなかなかでできませんでした。

ゆうきをだして、やっどこえをだしました。「だいじょうぶですか。いま、しんごうは、赤ですよ。」といいました。

そうしたら、その人は、「やさしいですね、ありがとう。」とぼくにいいました。

ぼくは、うれしかったです。からだのふじゆうな人がいたら、そのふじゆうなところをぼくのからだをつかって、まもってあげたいとおもいます。

いえにかえって、おかあさんにはなしたら「えらかったね。」といわれました。

ぼくは、いいことをしてよかったとおもいました。

この人権作文は、児童・生徒のみなさんに、人権や差別について考えていただき、他人の心の痛みがわかる、差別のない・許さない・見のがさない人になってほしいと願って作成されています。



がん(乳・子宮頸・大腸)検診無料クーポン券は使用されましたか?

◆使用期限
乳がん・大腸がん検診11月28日(金)
子宮頸がん検診12月27日(土)(町外指定医療機関は12月10日(水))